

## 授業計画（シラバス）

<b>■科 目</b>	<b>歯科補綴学</b>	<b>■講師名</b>	下山 和弘
I 部 2 学年	前期 1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間	講義 2 単位
<b>■学修概要</b>			
<p>歯科補綴学は人工装置を用いての形態や機能の回復、疾病予防を目的とする学問である。補綴歯科治療および補綴装置の特徴を理解し、さまざまな術式、器具、材料などについて学習することによって、歯科補綴学の視点から口腔健康管理の知識・技術を習得する。</p>			
<b>■授業目的、到達目標</b>			
<p>補綴歯科治療の最終的目的地は <b>Quality of Life</b> の維持・向上であり、歯科衛生士として必要とされている知識・技術を習得することが本講義の目的である。本講義では、補綴歯科治療の特徴、補綴歯科治療に必要なとされる基礎知識、補綴装置の種類と特徴、補綴歯科治療の臨床ステップを習得する。</p>			
<b>■授業方法</b>			
講義			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b>			
歯科衛生学シリーズ／歯科補綴学 医歯薬出版			
<b>■成績評価・講義上の注意</b>			
<p>学習態度および定期試験の点数で評価を行う。</p> <p>いままで学んできた各科目の知識を前提に講義が行われる。</p>			
<b>■実務経験</b>			
東京医科歯科大学大学院・歯学部および歯学部附属病院にておよそ 40 年間、教育・臨床を行った。			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	補綴歯科治療の意義と目的		
2	補綴歯科治療の基礎知識①		
3	補綴歯科治療の基礎知識②		
4	補綴歯科治療における検査		
5	クラウンブリッジ治療の基礎①		
6	クラウンブリッジ治療の基礎②		
7	全部床義歯治療の基礎①		
8	全部床義歯治療の基礎②		
9	部分床義歯治療の基礎①		
10	部分床義歯治療の基礎②		
11	部分床義歯治療の基礎③		
12	インプラント治療の基礎		
13	特殊な装置による治療の基礎		
14	予備日		
15	定期試験、解答解説		